



VOL. 137

平成27年 9月10日発行

宮城県大崎農業改良普及センター

〒989-6117 大崎市古川旭四丁目1番地1号

TEL (0229) 91-0727 (地域農業班)

(0229) 91-0726 (先進技術班)

FAX (0229) 23-0910

HP <http://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

E-mail osnokai@pref.miyagi.jp

おおさき

～大きい輪、和、話～

Osaki



もうすぐ刈取適期を迎える「ひとめぼれ」
(大崎市岩出山, 8月24日)

稲の刈遅れに注意しましょう

今年、四月下旬から気温が高めに経過し、日照時間も多めでした。特に梅雨明けからお盆前までは、連日真夏日になるなど暑い夏になりました。

この予想外の暑さに対して、皆様におかれましては、体調管理や農作物の栽培管理には大変なご苦労をされたと思います。

しかし、この好天により水稲の生育が進み、管内の平均的な出穂期は七月三十日となり、これまで例がないほど早まりました。

一方、降雨は春先から少ない傾向が続き、梅雨期間のまとまった降雨は、六月下旬に百ミリ程度あっただけでした。さらに、梅雨明け後もお盆前まで少雨傾向が続いたため、農業用水が不足し、用水の利用時間に制限を設ける「番水」が行われた地域もありました。

昔から「日照りに不作なし」と言われるように、雨が少なく、暑い年は、米の収量が高くなる傾向がありますが、近年は登熟期が高温になると、玄米の品質が低下することがあり、気がかりなところです。このように水稲の出穂が早まり、その後も高温に経過したため、刈取適期もかなり早まること予想されます。刈遅れに注意し、品質の高い米に仕上げましょう。

普及センターでは、水稲刈取適期など各作物の栽培技術情報をホームページなどで提供しておりますので、ぜひ御活用くださるようお願いいたします。

農業普及指導専門監 阿部 健司